

出題の基本方針とねらい

1 出題の基本方針

中学校学習指導要領に示されている目標や内容を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能並びに習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。

また、各教科とも履修学年や分野・領域、難易度のバランス、問題の分量について配慮し、受験生の多様な能力を捉えることができるように工夫した。

2 出題のねらい

〈国 語〉

言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能並びに話すこと・聞くこと、書くこと及び読むことに必要な思考力、判断力、表現力等、国語で正確に理解し適切に表現する能力を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、基礎的な漢字を読む力や書く力、表現技法についての知識、行書の特徴についての知識をみようとした。

第二問では、広報委員会で作成する壁新聞の記事の内容について話し合う場面を素材とし、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方についての知識及び技能、話し合いの進め方の工夫など、話し合う力をみようとした。

第三問では、祖母が営む雑貨店で働き始めた主人公が、自分に対する祖母の思いに気付く場面を描いた文章を素材とし、叙述に基づいて、文章の内容や表現を的確に捉える力や適切に表現する力をみようとした。

第四問では、言葉が人の物事の見方や考え方に影響を与えることについて説明した文章を素材とし、叙述に基づいて、書き手のもの見方や考え方を的確に捉える力や適切に表現する力をみようとした。

第五問では、故郷の家族に手紙を出す際の心境を詠んだ漢詩を素材とし、古典に関する基礎的な知識を基に、現代語訳や語注などを手がかりにして、古人のもの見方や考え方を的確に捉える力をみようとした。

第六問では、示されたグラフから読み取ったことと、その読み取ったことに対する自分の考えを書くことによって、豊かに発想する力及び自分の考えを適切に表現する力をみようとした。

〈数 学〉

数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などの知識及び事象を数学化したり、数学的に解釈、表現・処理したりする技能並びにそれらを活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、数と式についての基礎的な知識と計算する力、ヒストグラムから相対度数を求める力及び空間図形の性質から線分の長さを求める力をみようとした。

第二問では、起こり得る場合の数を考察し確率を求める力、正五角形の性質と平行線の性質を利用して角の大きさを求める力、関数の変域を求める力及びグラフの特徴を捉え比例定数を求める力、与えられた事象から規則性を見いだし数学化して論理的に考察する力をみようとした。

第三問では、2種類の飲料の販売数と製造の手順を素材とし、条件を整理して一次方程式を立式し処理する力、水と液体原料をタンクに入れる時間と量との関係をグラフに表現する力及び変化する二つの数量の関係を論理的に考察して処理する力をみようとした。

第四問では、三平方の定理から線分の長さを求める力、二つの三角形が相似であることを二等辺三角形の性質から論理的に考察し表現する力、相似な三角形に着目して線分の長さを求める力及び円周角の定理の逆や相似な三角形を見いだし論理的に問題を解決する力をみようとした。

〈社 会〉

地理、歴史、公民に関する知識及び調査や諸資料から情報を読み取りまとめる技能並びに社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、「国際連合の役割と取り組み」を題材とし、20世紀以降の世界の歴史に関する知識や、国際連合の仕組みと役割、持続可能な開発目標に関する知識をみようとした。

第二問では、「オセアニア州の3か国」を題材とし、世界地理に関する知識及び地図や統計資料から情報を読み取る技能並びにオーストラリア政府が移民などへの英語教育に力を入れている理由について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第三問では、「古代から近代までの日本の政治体制」を題材とし、歴史に関する知識及び選挙権の拡大を求める大正時代の活動について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第四問では、「国民権と政治参加」を題材とし、国民権に関する知識及び松山市の若年層に対する選挙啓発活動について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第五問では、「九州地方の特色」を題材とし、日本地理に関する知識及び統計資料から情報を読み取る技能並びに半導体関連企業が熊本県に集まった理由について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第六問では、「日本の労働環境の歴史」を題材とし、公民や近現代の歴史に関する知識及び中小企業が働き方改革に取り組む目的について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

〈英 語〉

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識及びこれらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用する技能並びに情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりするために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、絵を見ながら英語を聞いて内容を理解する力、会話の流れに沿って適切に応答する力、会話を聞いて内容を理解し質問に適切に応答する力及び短い英語を聞いて場面を捉え質問に対して即興で適切に応答する力をみようとした。

第二問では、短い会話を通して、基本的な文法・語法に関する知識と語彙力及び基本的な英文を構成する力をみようとした。

第三問では、催し物について英語で書かれたチラシを素材とし、必要な情報を読み取る力をみるとともに、親切な行為の広がりについて中学生が話した英文を素材とし、英文の概要を的確に捉える力をみようとした。

第四問では、高校生が人間の行動の特性について調べるために読んだ英文を素材とし、必要な情報や概要、要点を的確に捉えながら、書き手が伝えようとする内容を読み取る力をみようとした。

第五問では、友人の誕生日に祝意を伝える際、電話と電子メールのどちらがよいか意見を募集する学校英語新聞の英文を素材とし、自分の考えやその理由を相手に伝わるように英語で適切に表現する力をみようとした。

〈理 科〉

自然の事物・現象についての知識及び観察、実験などに関する技能並びに科学的に探究する力を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、混合物の分離、音の性質、刺激に対する反応、火山活動と火成岩を素材とし、自然の事物・現象に関する基本的な知識及び技能並びに自然の事物・現象の規則性や関係性を思考、判断する力をみようとした。

第二問では、力学台車をものさしに衝突させて力学台車の速さとのさしの移動距離の関係を調べる実験を通して、運動エネルギーや物体どうしにはたらく力に関する知識及び得られた実験結果を分析して解釈し、力学台車がものさしにした仕事について思考、判断する力をみようとした。

第三問では、月の観察を通して、太陽と月の位置関係による月の形の見え方に関する知識及び地球から見たときの月の動き方並びに皆既月食のときの地球と月の位置関係や月食のしくみについて思考、判断、表現する力をみようとした。

第四問では、植物の種子の呼吸に関する実験を通して、葉緑体のはたらきや呼吸に関する知識及び呼吸によって出入りする酸素と二酸化炭素の関係について思考、判断、表現する力をみようとした。

第五問では、マグネシウムと酸素が結びついて酸化マグネシウムができるときの質量の変化を調べる実験を通して、マグネシウムと酸素の化学反応式及び反応する物質の質量の間には一定の関係があること並びに得られた実験結果を分析して解釈し、質量変化の規則性について思考、判断する力をみようとした。